

健康にアイデアを

meiji

明治ホールディングス株式会社 会社説明会

2023年1月16日

代表取締役社長CEO 川村 和夫

1. **基本情報**
2. 2023中期経営計画
3. 株主還元

明治グループの歴史

- 100年以上前から創業精神「栄養報国」のもと、
栄養で社会に貢献



創業者
相馬半治

創業
1916年

明治製菓
明治乳業

経営統合
2009年

事業再編
2011年

明治HD

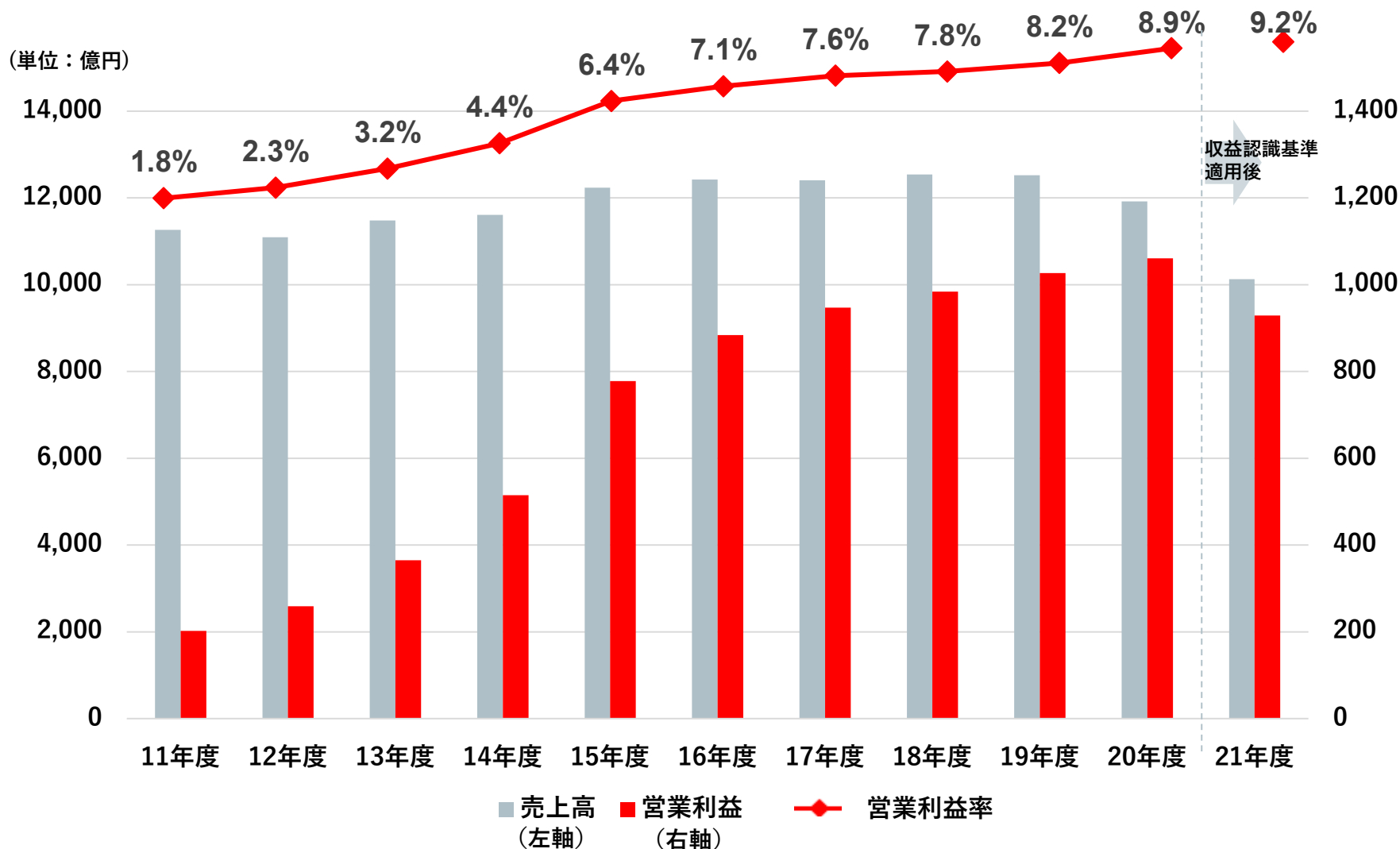
明治

Meiji Seika ファルマ

KMバイオロジクス

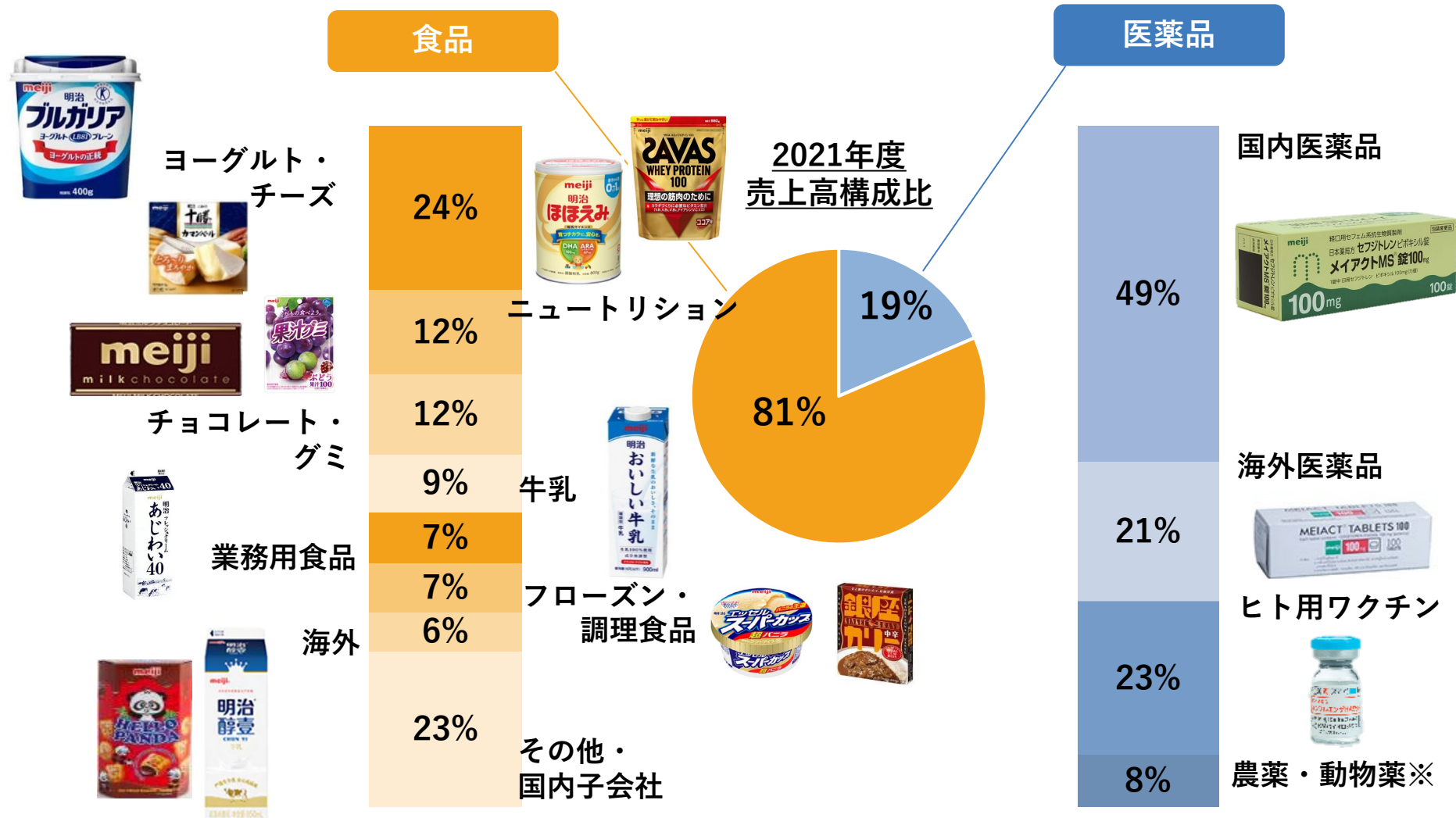
連結業績の推移

● 経営統合以降、収益性を大きく向上



事業ポートフォリオ

● 食品と医薬品で健康価値を提供

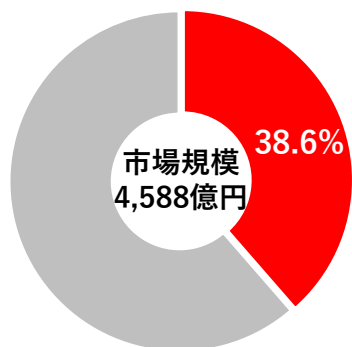


主要製品国内市場シェア（食品）

● 幅広い商品群と高い市場シェア

ヨーグルト

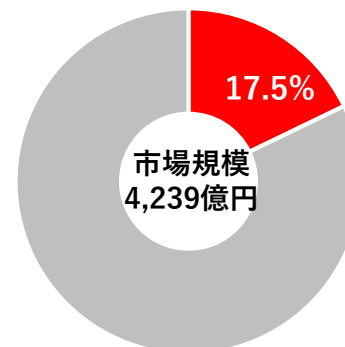
国内市場シェア 1位



※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

牛乳

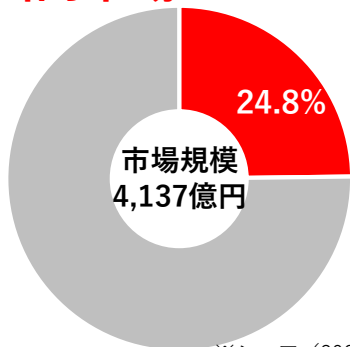
国内市場シェア1位



※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

チョコレート

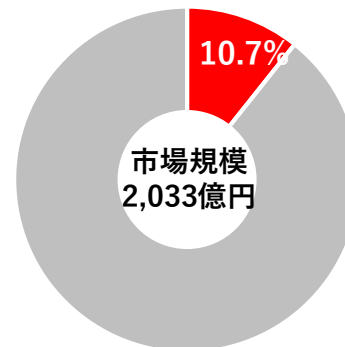
国内市場シェア 1位



※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

チーズ

国内市場シェア 3位



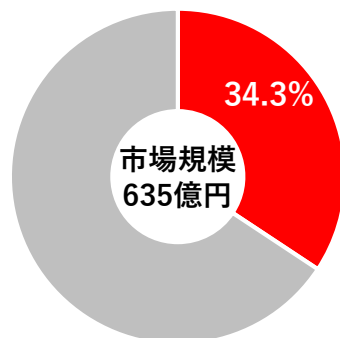
※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

主要製品国内市場シェア（食品）

● 幅広い商品群と高い市場シェア

プロテイン（粉末・顆粒）

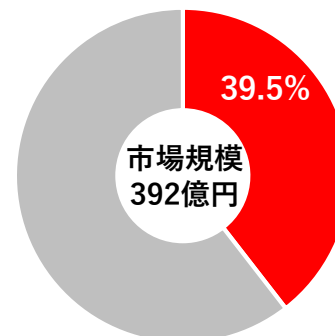
国内市場シェア 1位



※シェア（2021年度）出典：当社調べ

乳幼児ミルク

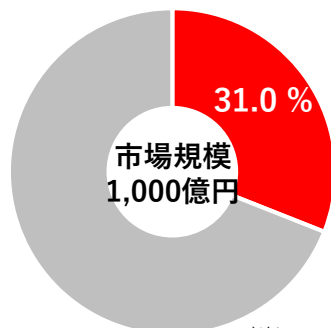
国内市場シェア 1位



※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

流動食（市販向け除く）

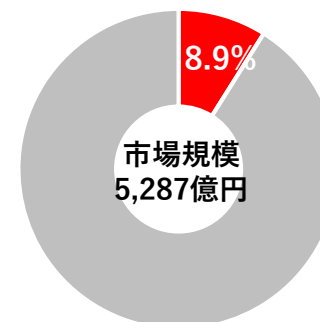
国内市場シェア 2位



※シェア（2021年度）出典：当社調べ

アイスクリーム

国内市場シェア 7位



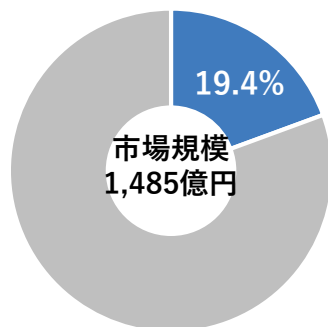
※シェア（2021年度）出典：インテージ社SRI+

主要製品国内市場シェア（医薬品）

● 感染症領域で強みを発揮

全身性抗菌剤

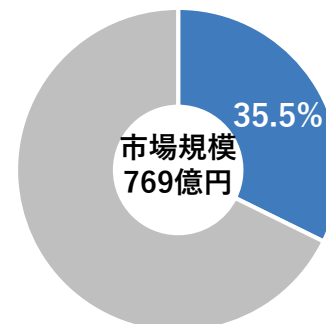
国内市場シェア 1位



Copyright©2022IQVIA
市場規模・シェア（21年度）出典：
IQVIA医薬品市場統計 JPM2022年3月MATを
もとに作成。市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

インフルエンザワクチン

国内市場シェア 1位



Copyright©2022IQVIA
市場規模・シェア（21年度）出典：
IQVIA医薬品市場統計 JPM2022年3月MATを
もとに作成。市場の範囲は当社の定義による
※無断転載禁止

明治グループの海外展開状況

● 世界各国で成長基盤を構築

国内グループ会社数 **27**社
 (国内グループ従業員数11,811人)
 海外グループ会社数 **30**社
 (海外グループ従業員数5,525人)



2022年3月31日現在

健康にアイデアを
meiji

本日の内容

1. 基本情報
2. **2023中期経営計画**
3. 株主還元

2023中期経営計画（21年度～23年度）

コンセプト

明治ROESG[®]※経営の実践

利益成長とサステナビリティ活動の同時実現

重点課題

1. 事業戦略

食品

- ①コア事業の成長力の回復
- ②海外展開の強化

医薬品

- ①Meiji Seika ファルマ・KMバイオロジクスの一
体運営推進（ワクチン事業の強化）
- ②CMO/CDMOの強化

全体

新領域への挑戦

2. ROIC活用による経営管理体制強化

3. 成長投資の継続と強固な財務基盤構築の両立

4. サステナビリティ2026ビジョンの着実な実行

※「ROESG」は一橋大学教授・伊藤邦雄氏が開発した経営指標で、同氏の商標です

2023中期経営計画～明治ROESG[®]経営の実践

● 利益成長とサステナビリティ活動の同時実現

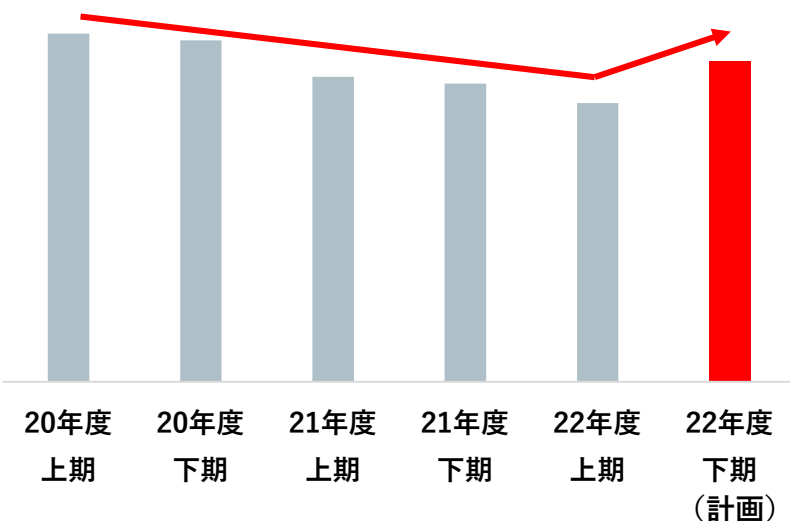


- ①健康寿命延伸
- ②たんぱく質摂取量
- ③インフルエンザワクチン接種率
- ④従業員エンゲージメントスコア
- ⑤健康志向食品、栄養付加価値型商品、超高齢化社会に貢献する商品の売上伸長率
- ⑥新型コロナウイルスワクチン・治療薬の開発成功と供給

食品：プロバイオティクスヨーグルトの再成長

● 機能訴求の強化によって売上トレンドの回復を図る

プロバイオティクスヨーグルトの売上推移



LG21

- ・2022年12月に機能性表示のパッケージに変更



R-1

- ・2022年10月より体調管理の必要性や機能イメージを訴求する新しいCMを投入



脂肪対策ヨーグルト

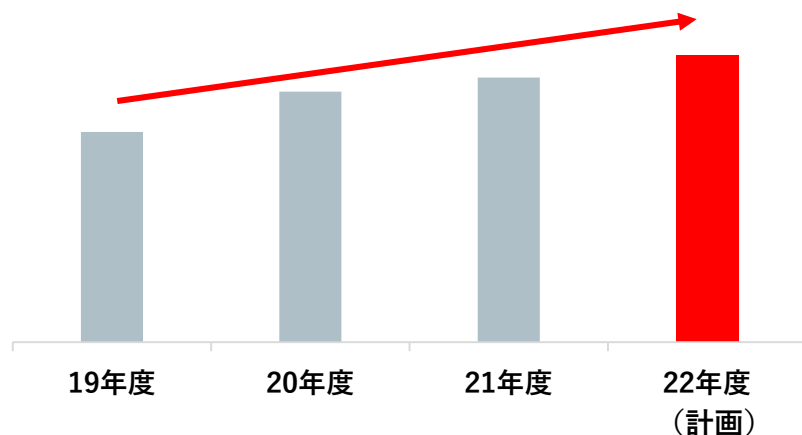
- ・脂肪対策食品市場に新商品投入

2022年10月発売

食品：ニュートリション事業の成長

● 拡大する市場に健康価値を提供

スポーツ栄養（ザバス、VAAM）の売上推移

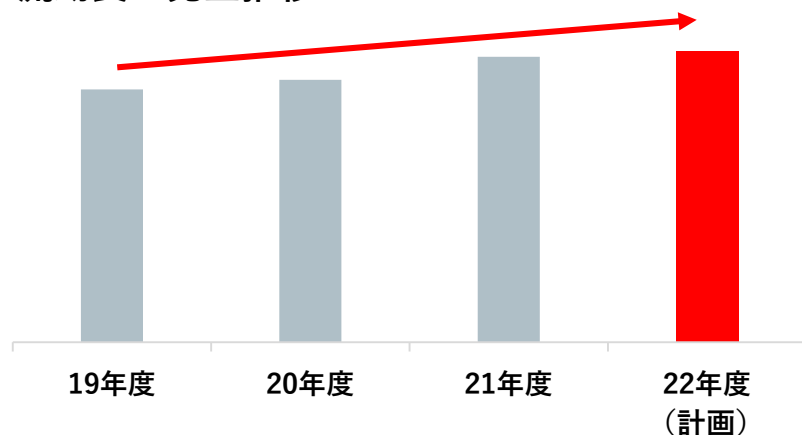


スポーツプロテイン

- ・コロナ禍での運動不足解消ニーズにより、プロテイン市場が大きく拡大
- ・市場が拡大する中、当社の商品ラインアップも拡げ、売上成長を継続



流動食の売上推移



流動食

- ・高齢化の進行、在宅要介護者の増加により、市販流動食市場は年々拡大
- ・国内トップブランド「明治メイバランス」で新商品を発売し、さらなる事業成長を目指す



食品：中国事業の強化

● 幅広い商品群で進出、生産能力を拡大中

- 当社が強みを持つ商品群を展開
(牛乳、ヨーグルト、菓子、アイス、ザバス)
- 新たに3工場を新設し、展開エリア
拡大と売上成長を目指す



2023年度末生産能力
(2020年度比・金額ベース)

牛乳・ヨーグルト	約 4 倍
菓子	約 2 倍
アイスクリーム	約 2 倍



医薬品：ワクチン事業の強化

● 国内トップクラスのワクチン生産・開発体制

- インフルエンザワクチン No.1シェア

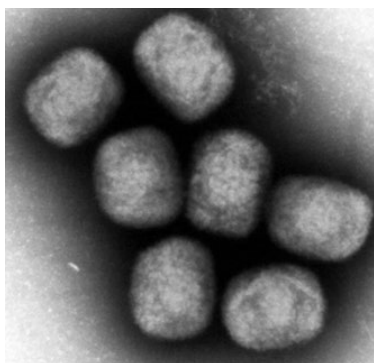


- 新型インフルエンザワクチンは、半年間で5,700万人分の生産が可能



ワクチン製造棟

- サル痘予防ワクチンの承認



- 数多くのシングルサプライ製品を供給※



※シングルサプライ製品・・・

国内では明治グループのみが製造している製品で、代替品がないもの。

医薬品：ワクチン事業の強化

- **新たなワクチン開発・供給の取り組み**
 - **新型コロナウイルスワクチン**
 - 副反応が少なく安全性の高い不活化ワクチン（KD-414）を自社開発（40歳以下成人、18歳未満の小児向けに2023年度内の供給を目指す）
 - 変異株にも有効性が期待される次世代型mRNAワクチン（ARCT-154）の日本国内での生産・供給に向け取り組み中（成人向けに2023年度内の供給を目指す）
 - **デング熱ワクチン**
 - 東南アジアや中南米などで流行しているデング熱ワクチンを自社開発



開発の様子



臨床試験の様子

健康価値領域での新たな挑戦

- 「抗老化」と「免疫増強」
2つのテーマで食と薬のシナジーを追求



食品

- ・ 栄養学の知見
- ・ 乳・乳酸菌・カカオの研究
- ・ 栄養設計技術 など

医薬品

- ・ 薬理学の知見
- ・ 合成技術
- ・ 微生物・バイオ技術 など

新たな
健康
価値

- ・ 他社や大学など社外の知見を積極的に取り入れ

オープンイノベーション

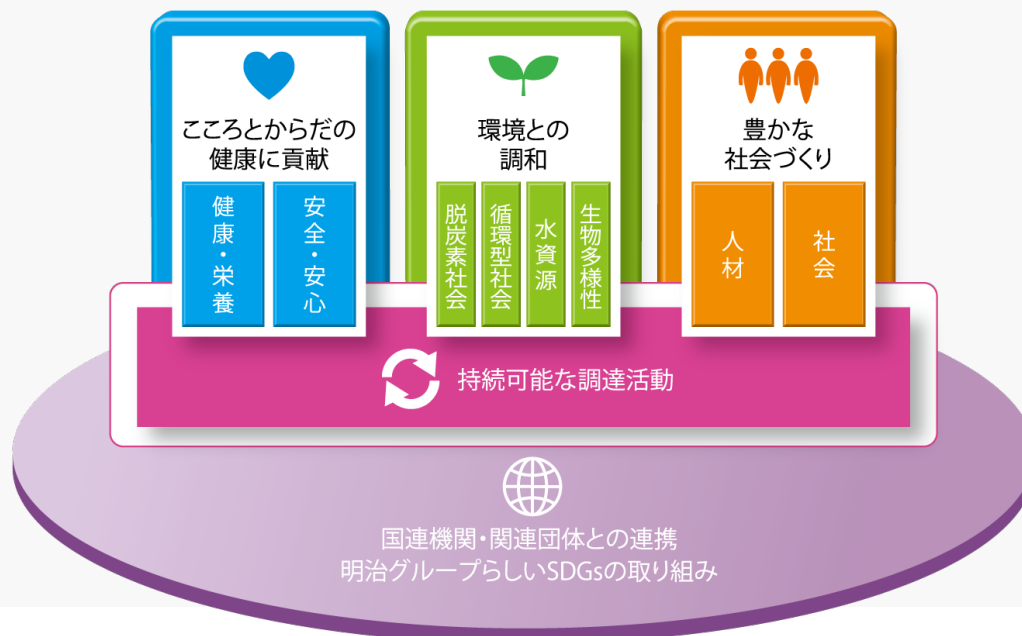
サステナビリティ：ミッション&ビジョン

ミッション

明治グループのNEXT100にむけて、
世界の人々が笑顔で健康な毎日を過ごせる未来社会をデザインする

サステナビリティ2026ビジョン

明治グループは、食と健康のプロフェッショナルとして
事業を通じた社会課題の解決に貢献し、人々が健康で安心して
暮らせる「持続可能な社会の実現」を目指します



カーボンニュートラル（CO₂排出ゼロ）達成に向けて

- 2030年度までにCO₂排出量を50%削減（2019年度比）
- 2050年度には実質ゼロ
- 太陽光発電設備の導入
12拠点まで設備導入完了、2023年度はさらに8拠点に導入



九州工場（2020年4月太陽光発電設備導入）

- 再生可能エネルギー由来電力の購入促進
2022年度中にグループ全体で再エネ電力比率が約10%となる見込み

環境負荷の低減に向けて

- 2030年度までにプラスチック使用量を25%以上削減
(2017年度比)

プラスチック使用量削減



薄肉化

ラベルレス



2022年8月発売
R-1 6本パック

カップの紙化



再生可能プラスチックの使用



バイオマスプラスチック
配合

リサイクルPET樹脂



2022年7月発売
5つ星習慣

2022年度業績見込み

● コストアップの逆風の中、主力品の売上回復に注力

(億円)		上期実績		下期計画		通期計画	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比
連結	売上高	5,175	+3.4% +168	5,350	+4.4% +226	10,525	+3.9% +394
	営業利益	431	△14.2% △71	403	△5.4% △22	835	△10.1% △94
	親会社株主に帰属する当期純利益	333	△8.9% △32	266	△47.6% △242	600	△31.4% △274
食品	売上高	4,206	+2.8% +115	4,330	+3.8% +159	8,536	+3.3% +275
	営業利益	293	△25.9% △102	366	+0.8% +2	660	△13.1% △99
医薬品	売上高	971	+5.5% +50	1,023	+6.7% +64	1,994	+6.1% +115
	営業利益	146	+29.9% +33	53	△27.5% △20	200	+7.2% +13

- 上期実績は増収減益。原材料コスト増で食品が大幅減益
- 医薬品はコロナ禍からの市場回復や、ジェネリック品の拡大により好調に推移

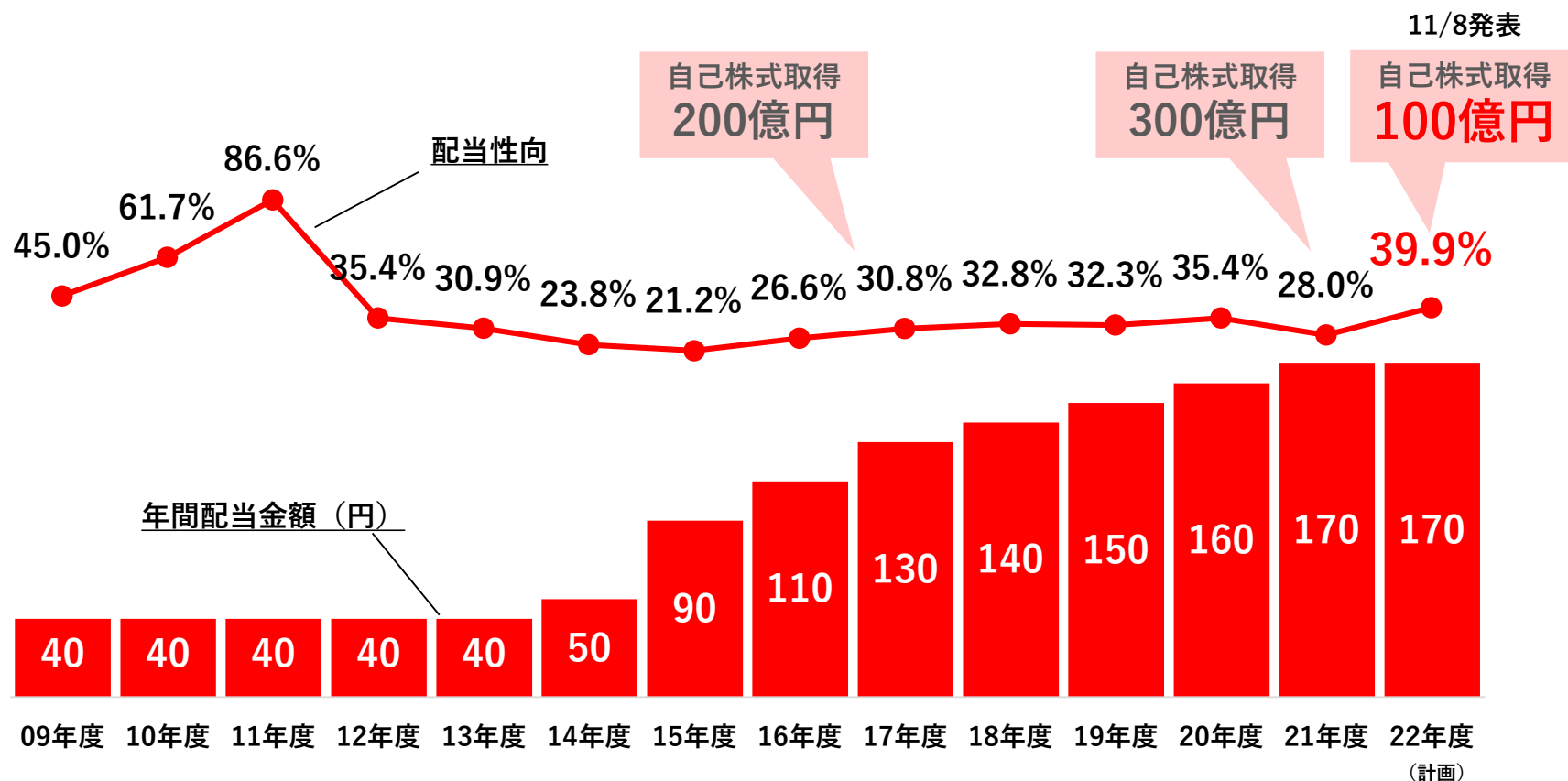
本日の内容

1. 基本情報
2. 2023中期経営計画
3. 株主還元

株主還元強化

2023中計還元方針

- 2023年度までに連結配当性向40%水準に引き上げ
- 自己株式取得の検討



注：2015年10月1日で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、上記数値はこの株式分割を反映しています

株式分割の実施と優待制度の変更

- 普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割（基準日：2023年3月31日）
- 株式分割に伴い、優待制度を拡充

現行 (2023年3月31日時点)		変更後 (2024年3月31日以降)	
ご所有株式数	優待品	ご所有株式数	優待品
—	—	100株以上 (現50株以上)	1,500円相当
100株以上	2,000円相当	200株以上 (現100株以上)	2,500円相当
500株以上	3,500円相当	1,000株以上 (現500株以上)	5,500円相当
1,000株以上	5,000円相当	—	—



2022年度の優待品
(500株以上3,500円相当)

100株以上の株式をご所有の株主さまを対象に、ご優待品（明治グループ製品詰め合わせ）を10月末ごろにお届け（基準日 3月31日）

健康にアイデアを meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。